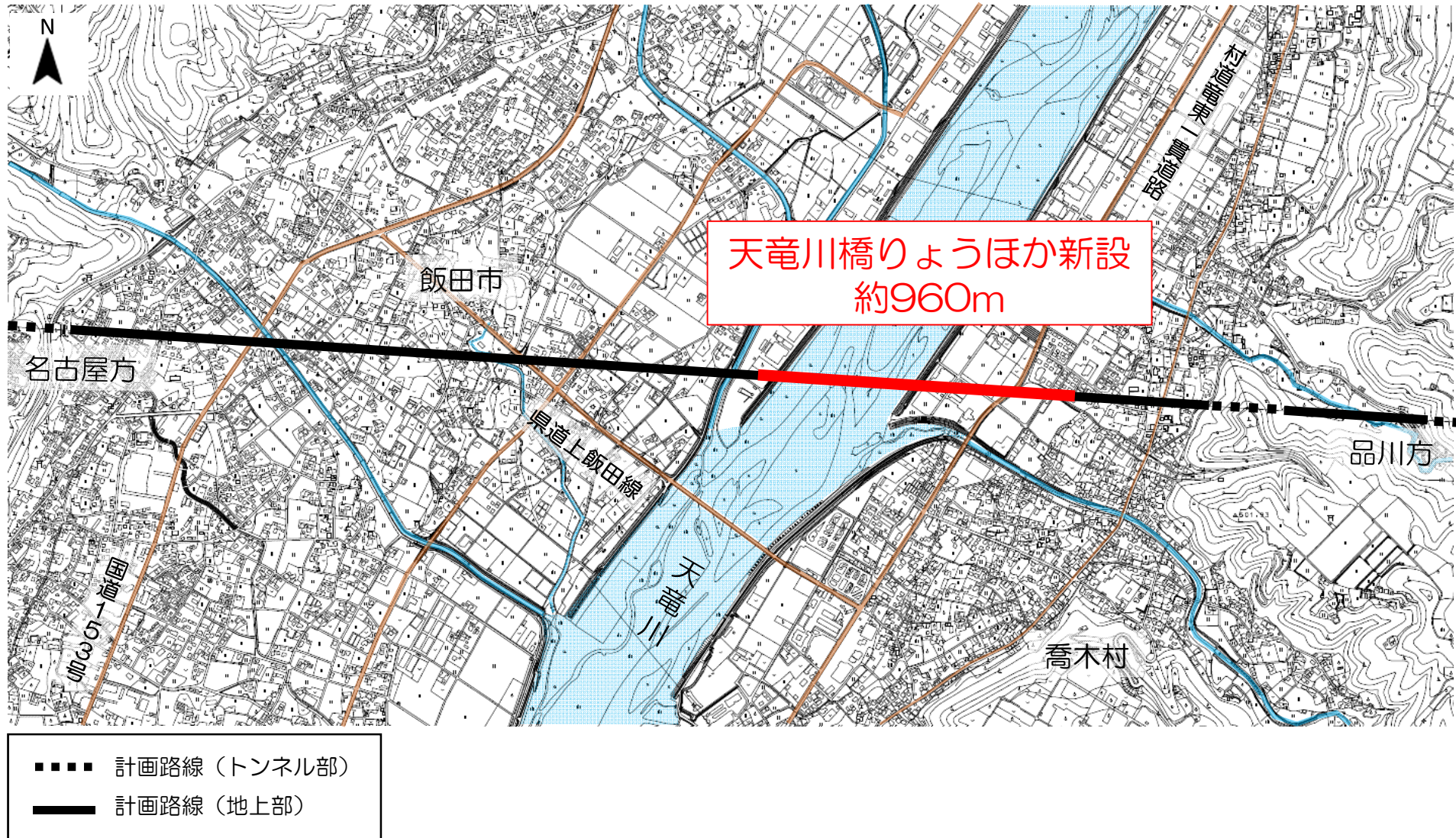


# 「中央新幹線天竜川橋りょうほか新設 工事における環境保全について (橋りょう準備工事)」



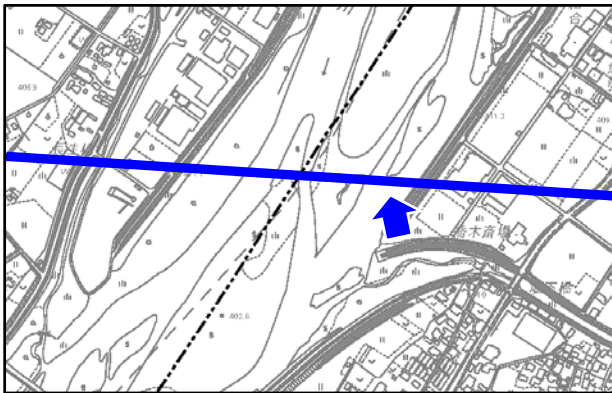
令和2年12月  
東海旅客鉄道株式会社

# 【参考】天竜川橋りょうほか新設工事の全体概要





# 【参考】天竜川橋りょうの概要（将来のイメージ）



※これはイメージパースであり、配置・外観等は周辺の景観等に配慮して計画します。

# 【参考】高架橋・橋りょうの概要（将来のイメージ）



竜東一貫道路

※これはイメージパースであり、配置・外観等は周辺の景観等に配慮して計画します。

# 目次

---

## 【中央新幹線天竜川橋りょうほか新設工事における環境保全について】

(橋りょう準備工事)

第1章 本書の概要

第2章 工事の概要

第3章 環境保全措置の計画

第4章 事後調査及びモニタリング

## <本書の概要>

中央新幹線天竜川橋りょうほか新設工事を実施するにあたり、「中央新幹線(東京都・名古屋市間)環境影響評価書【長野県】平成26年8月」(以下、「評価書」)に基づいて、実施する環境保全措置、事後調査及びモニタリングの具体的な計画について取りまとめたものです。

本書は、天竜川橋りょうに係る準備工事(以下、「準備工事」)を対象としており、天竜川橋りょう(本体工事)及び高架橋工事に伴う内容については、計画が具体化した後に本書の更新を行います。

※スライド右上端部に「中央新幹線天竜川橋りょうほか新設工事における環境保全について(橋りょう準備工事)」(以下、「本編」とする。)のページ番号を記載しています。

### <工事の概要>

工事名称	: 中央新幹線天竜川橋りょうほか新設	
工事場所	: 長野県下伊那郡喬木村阿島地内ほか	
工事契約期間	: 令和2年7月13日～令和8年3月31日	
本書の工事概要	: 伐採工、瀬替工	
本書の工事時間	: 橋りょう準備工事	8時00分～18時00分
休工日	: 日曜日、その他長期休暇（年末年始等）	

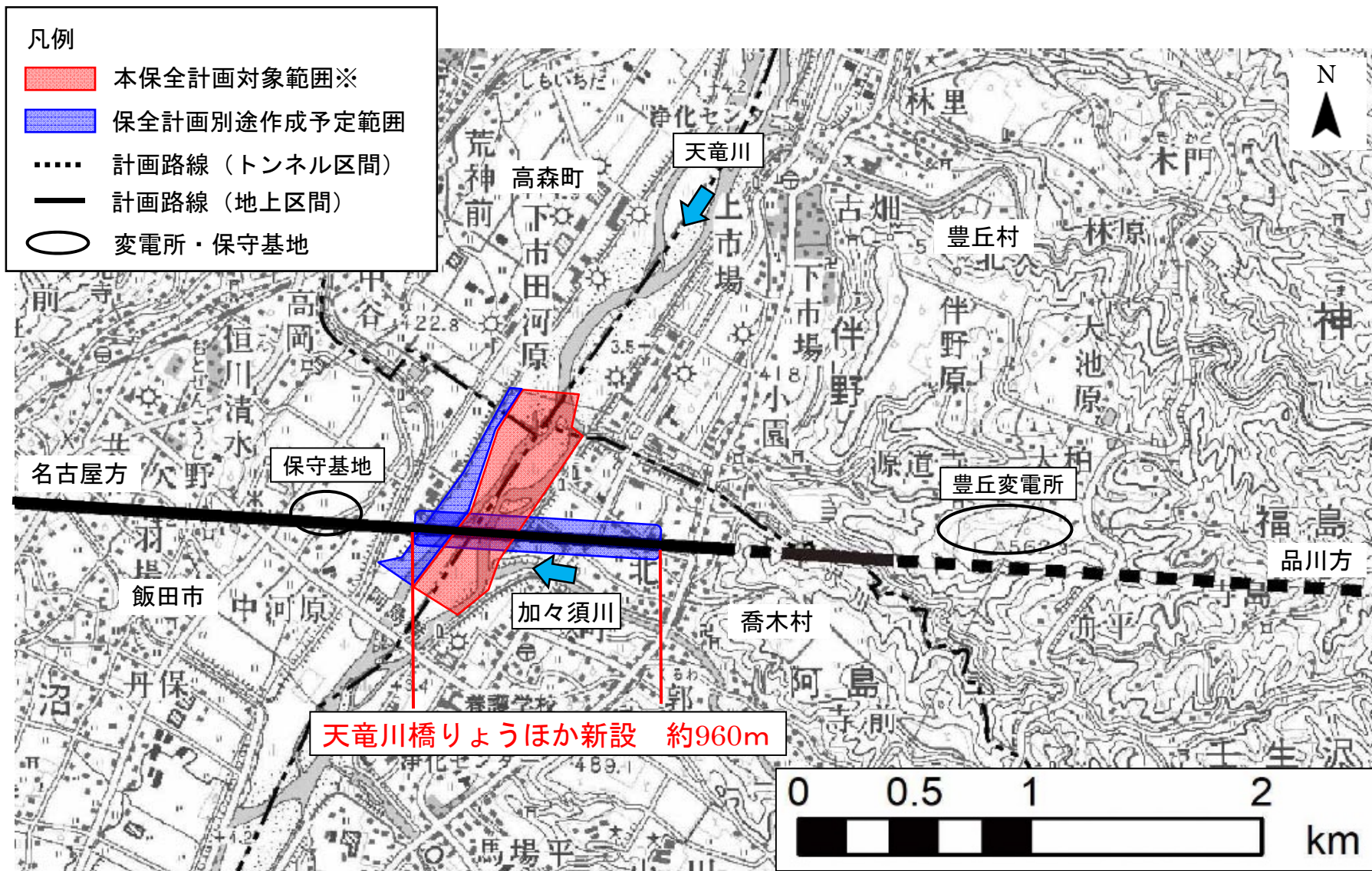
※上記の時間帯は、現地での作業開始、終了の時間です。

※工事の進捗状況等により、

上記の時間帯以外や休工日に作業や運搬を行うことがあります。

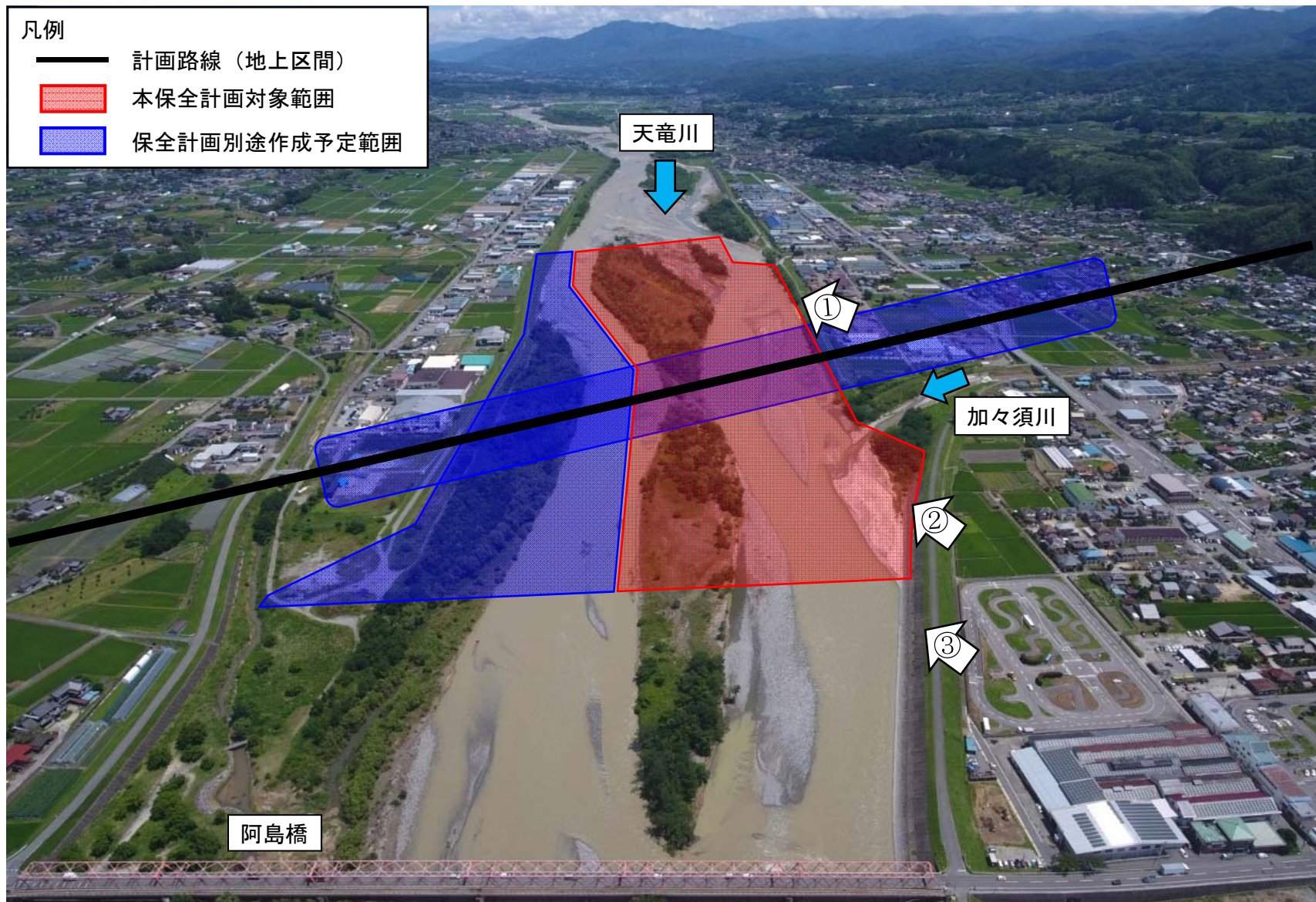


# <路線概要及び工事位置>



※本保全計画対象範囲は天竜川橋りょう（本体工事）でも使用する計画です。

# <路線概要及び工事位置(写真)>



※今後の協議等により、形状等が変更になる可能性があります。

下流から見る工事位置の現況 (上空から俯瞰する)

<路線概要及び工事位置(写真)>

①



<路線概要及び工事位置(写真)>

本編P2

②



<路線概要及び工事位置(写真)>

③



## <工事計画及び施工手順>

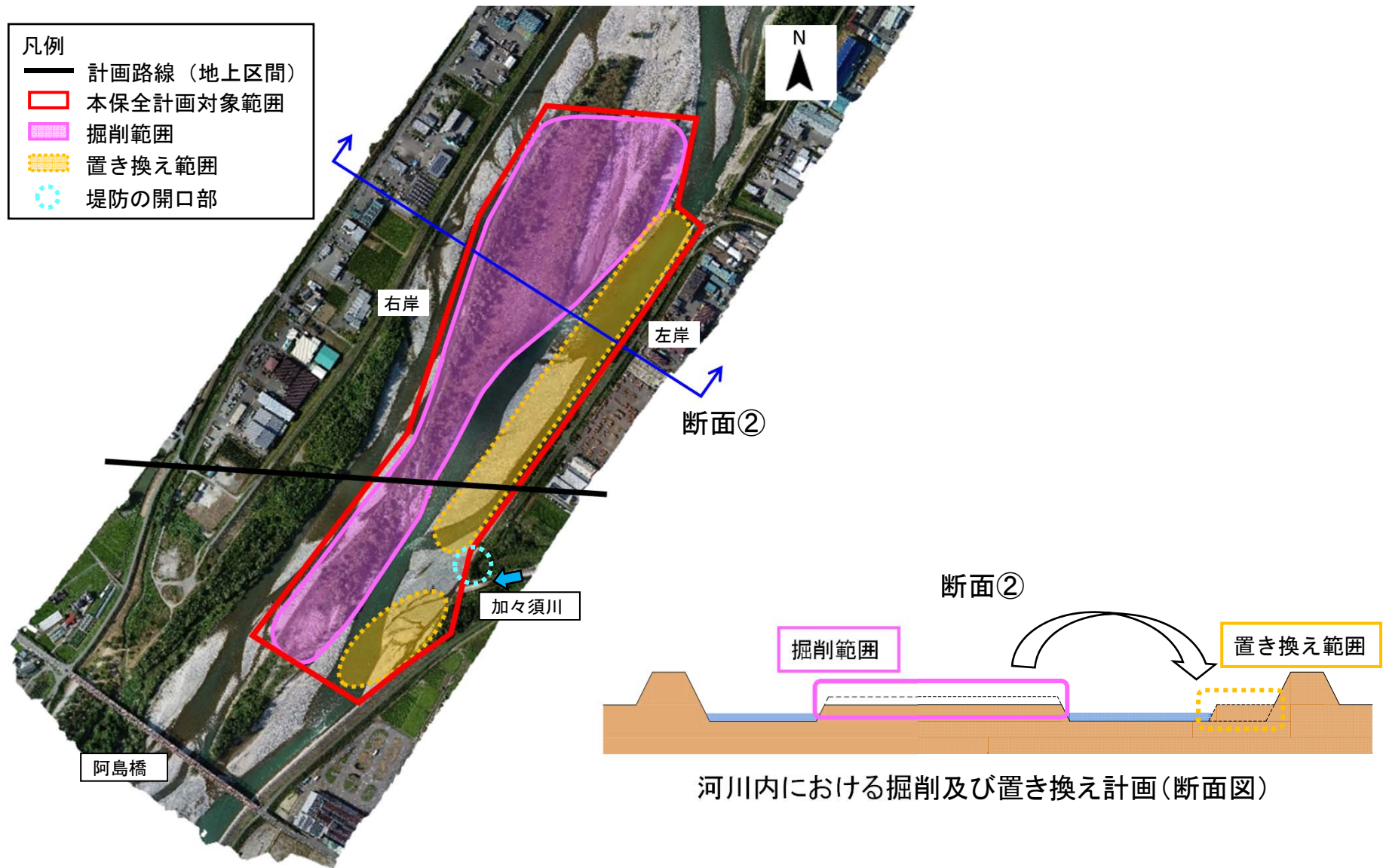
- 天竜川橋りょうの施工に先立ち、伐採工及び瀬替工を行う。



※今後の協議等により、形状等が変更になる可能性があります。

# <瀬替工>

- 本作業は川の流れを変えるため中洲の堆積土砂を掘削し、掘削した堆積土砂を左岸の下流から置き換えるものである。



※今後の協議等により、形状等が変更になる可能性があります。

# <工事工程>

年度		2020 (R2)					2021 (R3)											
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
道路改良※1			■	■	■													
準備 工事	伐採工				■	■	■											
	瀬替工				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
天竜川橋りょう（本体工事） 及び高架橋工事										■	■	■	■	■	■	■	■	■

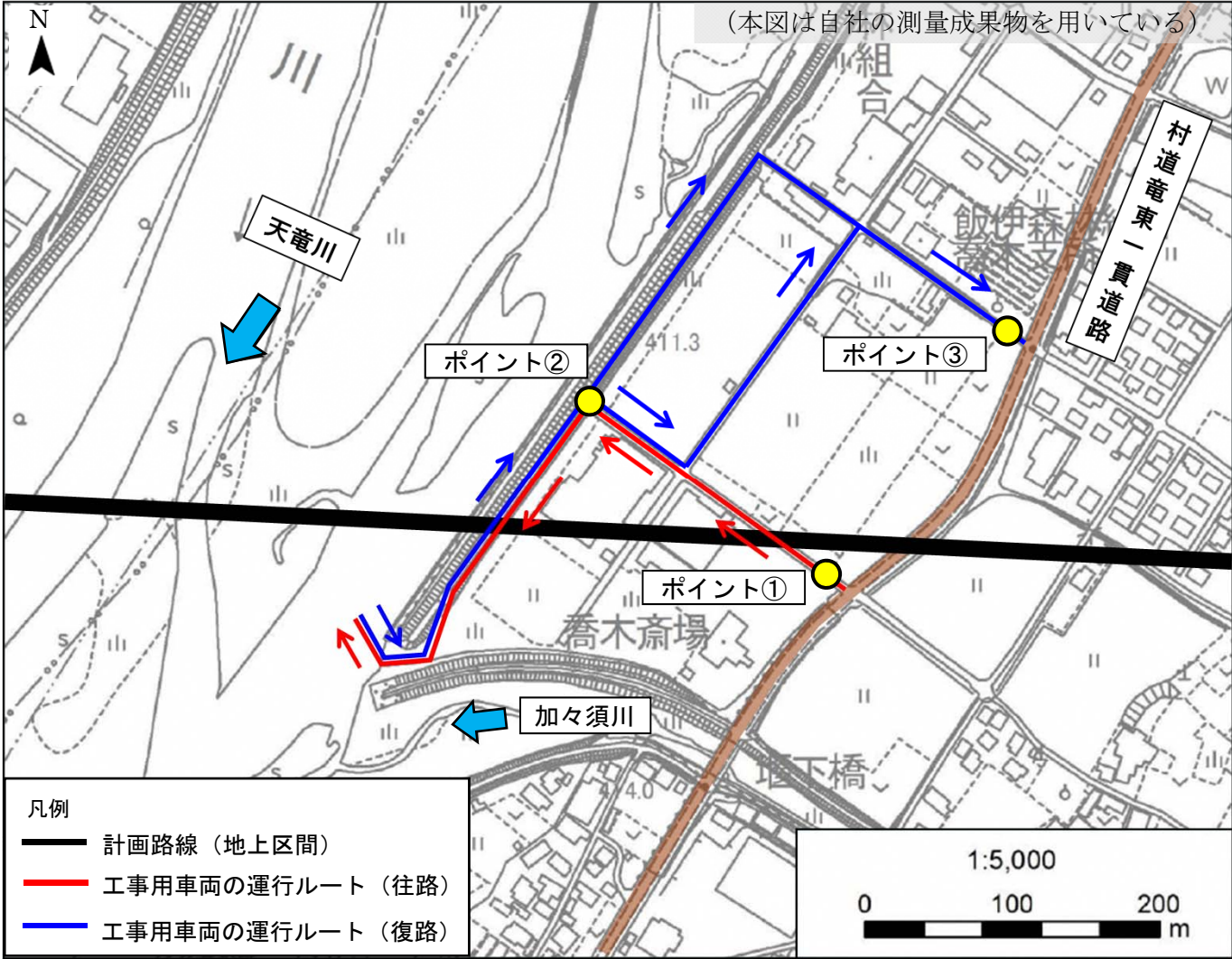
※今回の施工範囲

※1 道路改良計画については、参考2 既設道路の改良計画（本編p.40）に記載しています。

※2020年11月時点の計画であり、工事状況等により変更する場合があります。



# <工事用車両の運行>



	月別日平均の最大台数
ポイント①	片道 約20台/日
ポイント②	往復 約40台/日
ポイント③	片道 約20台/日

## <環境保全措置の検討方法>

動植物の重要な種等の河川内の生息・生育環境は、出水によるかく乱や河川管理上必要な伐採等により常に変化しており、調査において確認された生息・生育箇所を将来にわたり維持することは困難である。そうした前提はあるものの、環境保全措置の詳細な検討に向けた事前確認調査の結果、並びに確認された種の希少性を踏まえ、動植物の重要な種等が生息・生育する箇所をできる限り回避するとともに、その他の環境要因への影響も考慮し地形の改変範囲をできる限り小さくするように計画



そのうえで、工事による影響を低減させるための環境保全措置を現場の状況に即し、

- ・ 建設機械、仮設設備等のハード面
- ・ 係員配置、教育・指導、設備のメンテナンス等のソフト面

から検討



必要な場合には、環境を代償するための措置について検討

※動植物の移設・移植等、専門性の高い環境保全措置については、専門家等の助言を受けて検討しました。

## <重要な種等の生息・生育地の回避検討>

本編P8～20

- 準備工事に伴う対象範囲の検討にあたっては、準備工事に伴う対象範囲周辺には重要な種等が確認されたことから、重要な種等の生息・生育地の回避検討を行い、重要な種等への影響について回避を図りました。
- 植物の一部については、回避のための措置を講じても生育環境が十分に保全されないと考えたため、代償措置を実施することとしました。

※希少種保護の観点から位置等の情報については非公開にしています。

## ＜工事による影響を低減させるための環境保全措置＞

- 工事による影響を低減させるため、工事中に実施する環境保全措置について、工事の内容や周辺の住居の状況等を考慮し、計画しました。

### 【主な環境保全措置（大気環境、水環境、植物、生態系）】

- 大気環境
  - ・排出ガス対策型、低騒音型建設機械の採用(①)
- 水環境
  - ・汚濁防止膜の設置(②)
- 植物、生態系
  - ・タイヤの洗淨(③)

## ＜車両の運行による影響を低減させるための環境保全措置＞

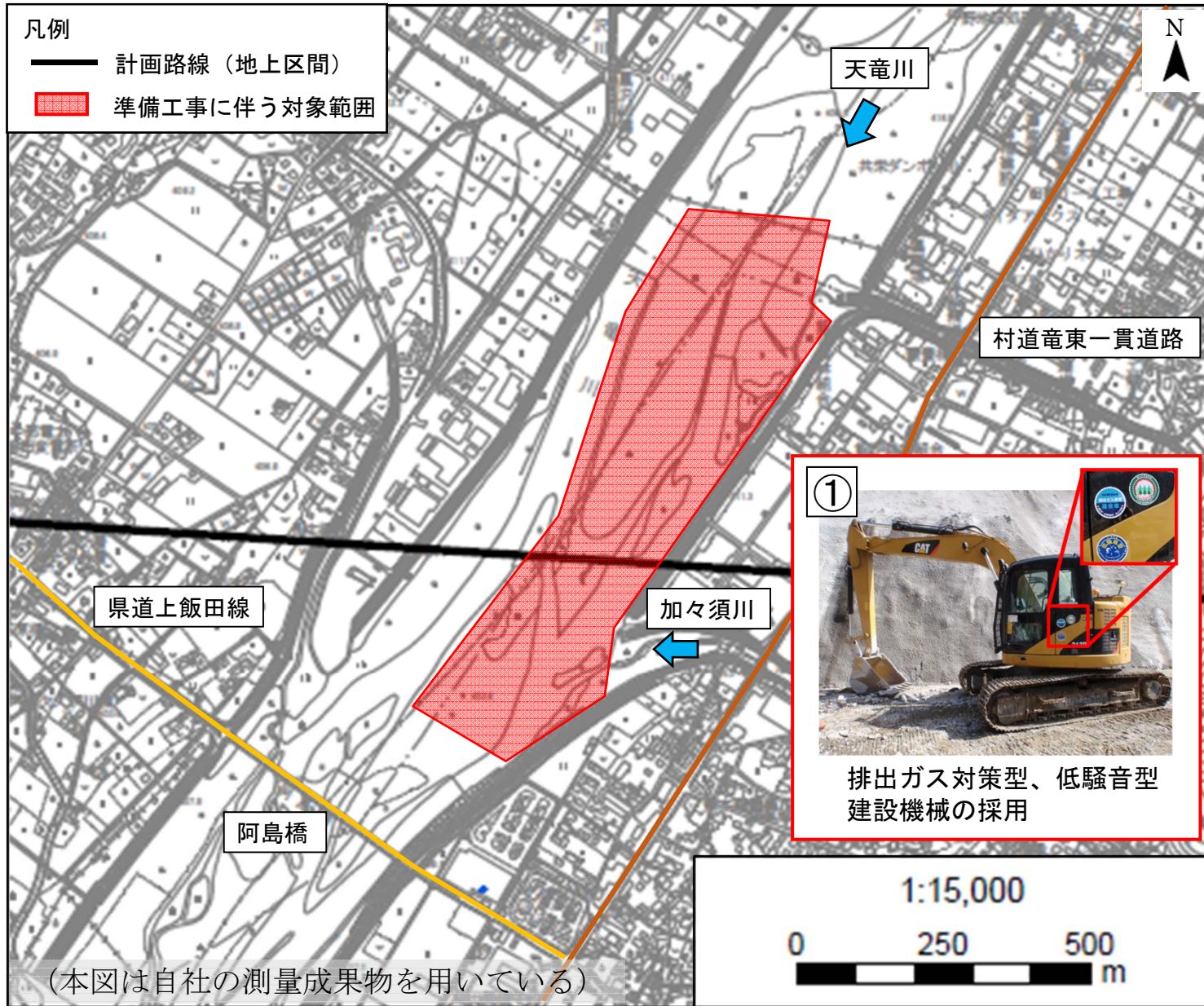
- 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による影響を低減させるため、環境保全措置について、工事の内容や周辺の住居の状況等を考慮し、計画しました。

### 【主な環境保全措置】

- 資材及び機械の運搬に用いる車両のタイヤ洗淨(③)

※各丸数字は、以降の図における丸数字を示しています。

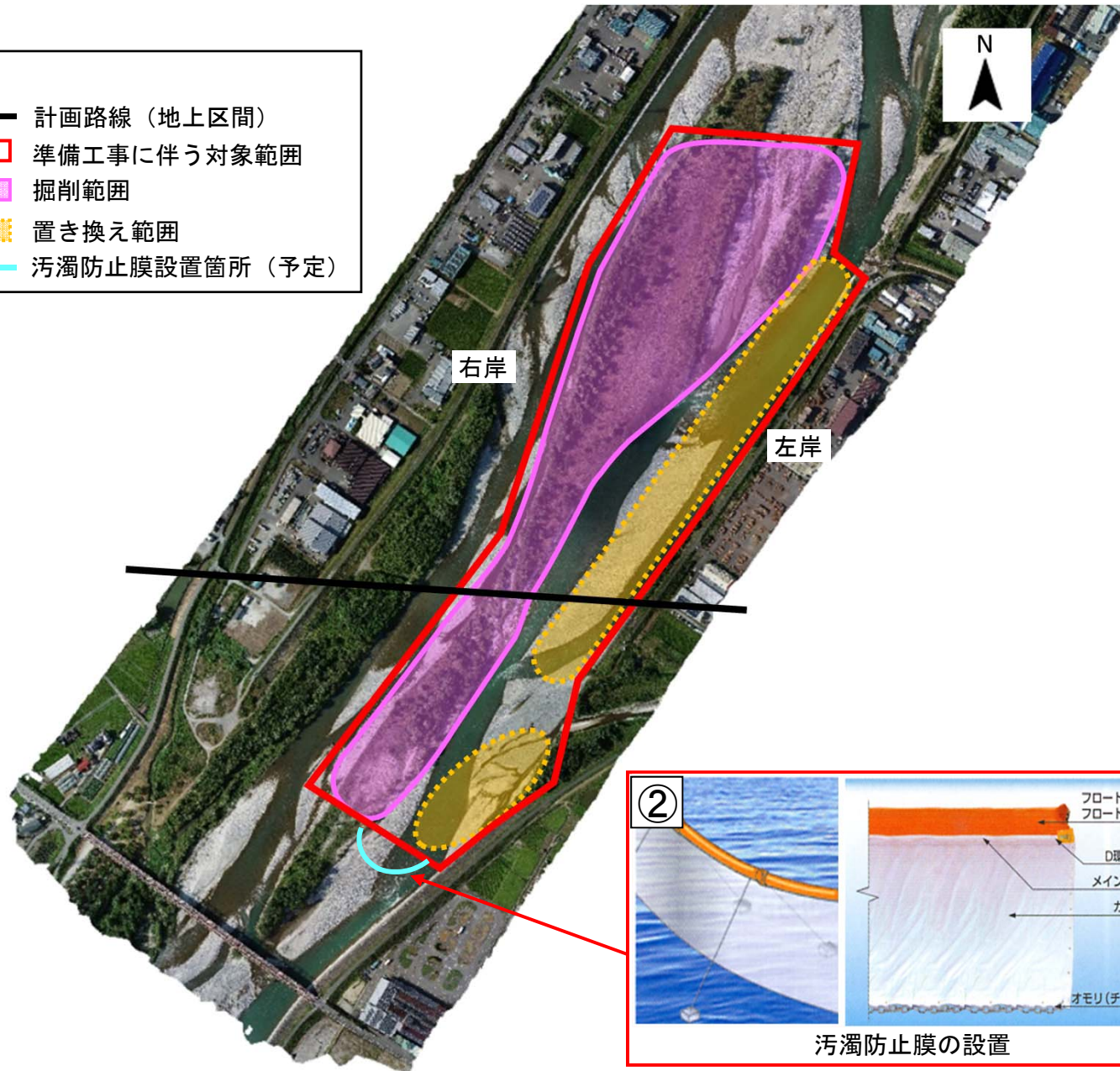
# 【主な環境保全措置(大気環境)】



※今後の協議等により、形状については変更する可能性があります。

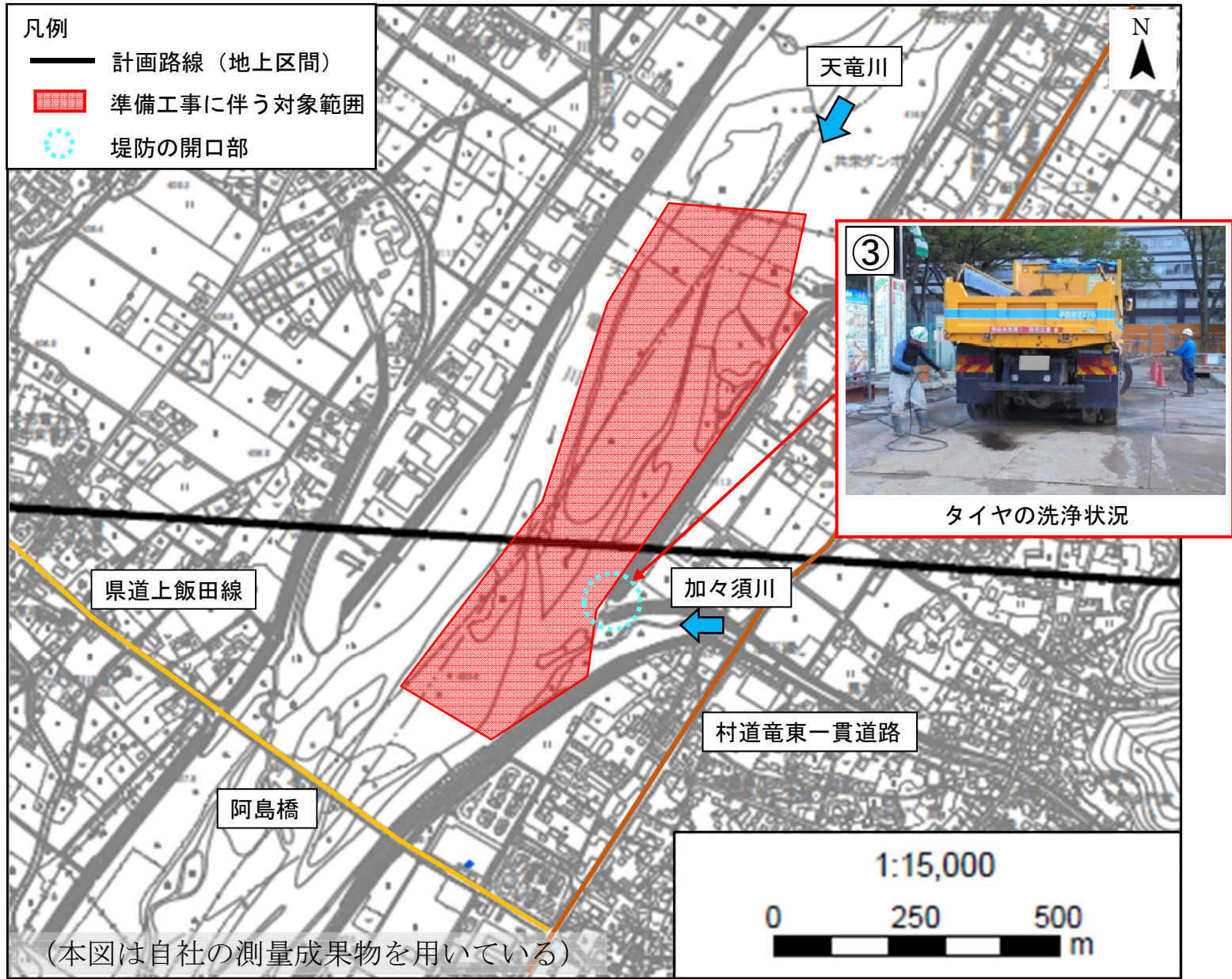
# 【主な環境保全措置(水環境)】

- 凡例
- 計画路線 (地上区間)
  - ▭ 準備工事に伴う対象範囲
  - ▭ 掘削範囲
  - ▭ 置き換え範囲
  - 汚濁防止膜設置箇所 (予定)



※今後の協議等により、形状については変更する可能性があります。

# 【主な環境保全措置(植物、生態系、車両の運行)】



※今後の協議等により、形状については変更する可能性があります。

## ＜重要な種の移植・播種＞

- 準備工事に伴う対象範囲の検討にあたっては、植物の重要な種が生育する箇所を回避することを前提に検討を行いました。一部植物の重要な種を回避することができなかつたため、希少性の高さや専門家の助言を踏まえ、工事前に移植を実施しています。

※希少種保護の観点から位置等の情報については非公開にしています。

### 移植対象種

種名	科名	生活型・生育環境	重要な種の選定基準
コムラサキ	クマツヅラ	落葉低木 山麓の湿地や湿った原野	長野県RL：絶滅危惧 I B類 (EN)



## <事後調査の実施内容>

環境要素の区分	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度
植物	移植・播種した植物の生育状況	移植・播種を講じた植物の移植・播種先の生育地	種の生活史及び生育特性に応じて設定

※植物の移植・播種後の生育状況の確認は、移植・播種後最初の開花・結実時期及びその後3年後までの結実時期を基本とし、期間や実施頻度は専門家等の助言を得ながら状況に応じて検討する。

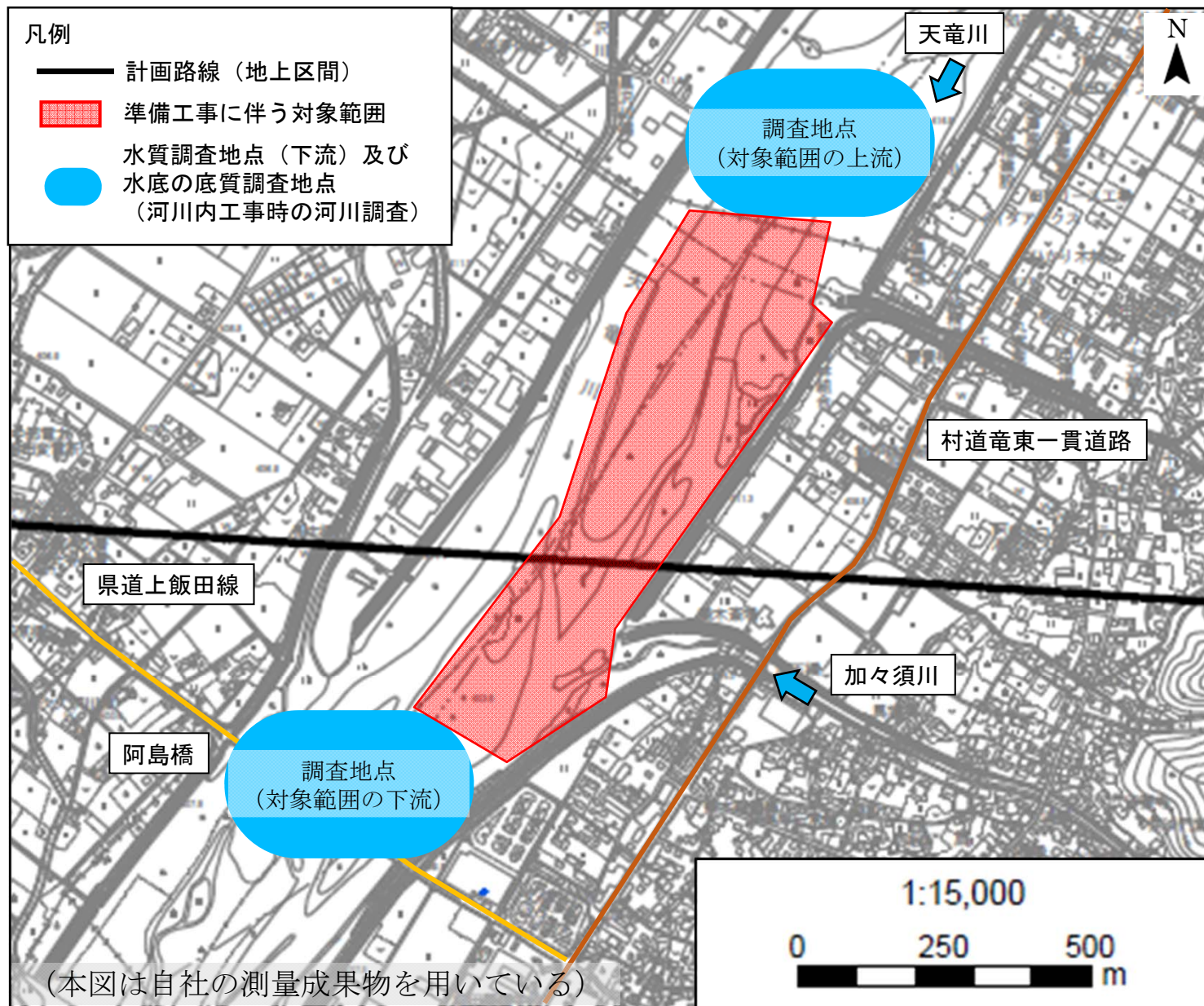
## <モニタリングの実施内容>

環境要素の区分	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度
水質	浮遊物質量 (SS)、 水温、 水素イオン濃度 (pH)、 自然由来の重金属等	図4-1	工事前に1回 工事中に年1回、低水期に実施
水底の底質 (河川内工事時の 河川調査)	浮遊物質量 (SS)、 水素イオン濃度 (pH)、 自然由来の重金属等	図4-1	河川内工事前に1回 (上流) 河川内工事前・工事中に各1回 (下流)

※天竜川橋りょう(本体工事)及び高架橋工事に係る事後調査及びモニタリングの具体的な実施内容については、今後決定する。

※資材及び機械の運搬に用いる車両の運行における調査(大気質、騒音、振動)については、天竜川橋りょう(本体工事)及び高架橋工事開始以降の工事最盛期に調査を実施する。

# <モニタリングの調査地点図>



※今後の協議等により、形状については変更する可能性があります。